

令和2年（2020年）9月

令和2年度版(2020年度版)『小学算数』 年間指導計画案（6年）

●評価規準の参考事例●

各時間の「おもな評価規準」は、3つの観点のうち、その時間で中心になるものにしぼって示し、各時間における評価の重点が明らかになるようにしています。なお、3つの観点は、文頭に以下の印を付けてあります。

知・技	……知識・技能
思・判・表	……思考・判断・表現
態 度	……主体的に学習に取り組む態度

※本資料で示した各単元の目標や評価規準、学習活動、配当時数などは、今後公開される各種情報によって、変更となる可能性があります。ご了承ください。

『小学算数』 6年 年間指導計画（詳細案）

1 分数のかけ算とわり算〔分数のかけ算とわり算のしかたを考えよう〕 (P.10~16)

4月中旬〔4時間〕

【単元の目標】

- ・(分数)×(整数), (分数)÷(整数)の計算の仕方を理解し, その計算の仕方を既習の分数の性質や計算の仕方を使って考えとともに, 多面的に検討した過程を振り返り, 学習したことを今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…(分数)×(整数), (分数)÷(整数)の計算の仕方を理解し, その計算ができる。

思・判・表…分数のかけ算やわり算を, 整数や小数のかけ算やわり算の拡張としてとらえ, (分数)×(整数), (分数)÷(整数)の計算を単位分数に着目して考えている。

態 度…既習の整数や小数のかけ算, わり算の学習と関連づけて, 分数のかけ算やわり算の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.9)は, 短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	○(分数)×(整数)の意味を理解し, その計算ができる。	・(分数)×(整数)の計算の意味, 計算の仕方を考える。 例 $2/7 \times 3$	知・技 (分数)×(整数)の計算ができる。 思・判・表 整数や小数のかけ算の学習をもとにして, (分数)×(整数)の計算の仕方を考えている。
2 3	○(分数)÷(整数)の意味を理解し, その計算ができる。	・(分数)÷(整数)の計算の意味, 計算の仕方を考える。 例 $4/5 \div 2, 3/5 \div 2$	知・技 (分数)÷(整数)の計算ができる。 思・判・表 整数や小数のわり算の学習をもとにして, (分数)÷(整数)の計算の仕方を考えている。
学習のまとめ 1時間			
4	○「たしかめポイント」(P.16)に取り組み, 学習内容の理解を確認する。		

2 対称な図形〔ぴったり重なる形を調べよう〕 (P.18~32)

4月中旬~4月下旬〔11時間〕

【単元の目標】

- ・対称な図形を構成したり, 作図したりすることを通してその意味や性質を理解し, 図形を構成する要素の関係を考察して図形の性質を見いだすとともに, 考察した過程を振り返り, 今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…線対称な図形や点対称な図形の意味や性質を理解し, 線対称な図形や点対称な図形を構成したり, 作図したりすることができる。

思・判・表…既習の図形を線対称や点対称の観点から見直し, 図形を分類整理したり, 分類した図形の特徴を説明したりしている。

態 度…身の回りから対称な図形を見つけ, 対称性に着目して図形を考察・観察し, 対称な図形の美しさに気づくとともに, 学習したことを振り返り, 学習したことを生活や今後の学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.17)は, 短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	整った形 (P.19~21) 2時間		
1	○単元アプローチ (P.18) ・身の回りにある美しい形を探し, その特徴を考える。		
2	○アルファベットの形の特徴に関心を持ち, 仲間分けに取り組むとともに, 線対称な図形, 点対称な図形の	・アルファベットの形の特徴を調べる。 ・線対称な図形, 対称の軸の意味を知る。	知・技 1つの直線を折り目にして折ったとき, 両側がぴったり重なる図形という線対称な図形の意味, 1つの点を中心にして180°回転したとき, もとの図形にぴったり重なる図形と

	意味を理解する。	・点対称な図形，対称の中心の意味を知る。	この点対称な図形の意味を理解している。 態度 身の回りにある美しい形のもつ美しさに気づき，それらを探そうとしている。
2 線対称な形 (P. 22～24) 2時間			
3	○線対称な図形の性質を理解する。	・線対称な図形で，重なりあう点や辺を見つける。 ・線対称な図形で，対応する点と対称の軸との長さや交わり方を調べる。	知・技 線対称な図形における対応する点，対応する辺，対応する角の意味や，対応する2つの点を結ぶ直線は対称の軸と垂直に交わることや，この交わる点から対応する2つの点までの長さは等しくなるという線対称な図形の性質を理解している。
4	○線対称な図形を作図することができる。	・線対称な図形（方眼あり・なし）を作図する。	知・技 線対称な図形をかくことができる。 思・判・表 線対称な図形をかくとき，対応する点のきめ方を考え説明している。
3 点対称な形 (P. 25～27) 2時間			
5	○点対称な図形の性質を理解する。	・点対称な図形で，対応する点と対称の中心との長さを調べる。	知・技 点対称な図形における対応する点，対応する辺，対応する角の意味や，対応する2つの点を結ぶ直線は対称の中心を通ることや，対称の中心から対応する2つの点までの長さは等しくなるという点対称な図形の性質を理解している。
6	○点対称な図形を作図することができる。	・点対称な図形（方眼あり・なし）を作図する。	知・技 点対称な図形をかくことができる。 思・判・表 点対称な図形をかくとき，対応する点のきめ方を考え説明している。
4 いろいろな図形の対称 (P. 28～31) 4時間			
7	○四角形を線対称や点対称の観点から考え，分類した特徴を説明することができる。	・四角形を線対称や点対称の観点から調べる。	思・判・表 四角形を線対称，点対称という観点から見直し，図形を分類整理したり，分類した図形の特徴を説明したりしている。
8	○正多角形を線対称や点対称の観点から考え，分類した特徴を説明することができる。	・正多角形を線対称や点対称の観点から調べる。	思・判・表 正多角形を線対称，点対称という観点から見直し，図形を分類整理したり，分類した図形の特徴を説明したりしている。
9・10	○身の回りから対称な図形を見つけようとする。	【Hello! Math】 ・都道府県や市町村のマークを探し，対称の見方で調べる。 ・道路標識や地図記号などを対称の見方で調べる。	態度 身の回りにある対称な形をしたマークを探そうとしている。
学習のまとめ 1時間			
11	○「たしかめポイント」(P. 32) に取り組み，学習内容の理解を確認する。		

3 文字と式〔文字を使った式に表そう〕 (P. 34～40)

5月上旬～5月中旬〔6時間〕

【単元の目標】

・数量やその関係を文字を用いて式に表すことを理解し，文字にはいろいろな数があてはまると考え，数量やその関係を文字を用いた式で表すよさに気づくとともに，考えた過程を振り返り，学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…数量やその関係を，□や△などの代わりに，a，xなどの文字を用いて式に表す方法を理解し，文字を用いて式に表すことができる。

思・判・表…数量やその関係を式に表すのに，文字を用いて簡潔に表すよさや一般性を見いだしている。

態度…数量の関係を考察したり表現したりするのに，文字a，xなどを用いた式で数量の関係を表すよさに気づき，生活や学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.33)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 文字を使った式 (P.34~35) 1時間			
1	○単元アプローチ (P.34) ・和菓子屋での買い物について、代金を式に表すことを通して、具体的な場面を式に表すことへの関心を高める。	○数量の大きさを、文字を用いた式で一般的に表すことを理解する。 ・和菓子1個と100円のどら焼きを買う買い物の代金を、文字を用いて式に表す。 ・まんじゅう4個を買う買い物の代金を、文字を用いて式に表す。	知・技 数量の大きさを、文字を用いて式に表す方法を理解している。 態度 文字を用いた式で数量を表すよさに気づき、学習に使おうとしている。
2 文字にあてはまる数 (P.36~37) 2時間			
2	○加法や減法の場面で、式の中の文字にあてはまる数の求め方を理解する。	・ノート1冊と、250円の下じき1枚を買い、代金が360円するとき、ノート1冊の値段の求め方を考える。	知・技 加法や減法の場面で、式の中の文字にあてはまる数の求め方を理解している。
3	○乗法がふくまれる場面で、式の中の文字にあてはまる数の求め方を理解する。	・3周すると1.5kmになるコース1周の道のりの求め方を考える。 ・1個130円のと菓子とを80円の箱につめるとき、1000円で買えると菓子の数を考える。	知・技 乗法の場面で、式の中の文字にあてはまる数の求め方を理解している。 思・判・表 問題場面の数量の関係を表した式の意味を読み取り、条件にあてはまる数を考えている。
3 2つの文字を使った式 (P.38) 1時間			
4	○数量の関係を、2つの文字を使って式に表すことができる。	・縦の長さが4cmの長方形の横の長さや面積の関係を調べ、式に表す。	知・技 式で表された数量の関係について、xやyなどの2つの文字を使って式に表すことができる。
4 式のよみ方 (P.39) 1時間			
5	○文字を用いた式から、どんな場面を表しているかを考え説明することができる。	・買い物の代金について、文字を用いた式から、どんな買い物をしたのかよみとる。	思・判・表 式で表された数量の大きさについて、買い物の具体的な場面をよみとり説明している。
学習のまとめ 1時間			
6	○「たしかめポイント」(P.40)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P.254)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

4 分数のかけ算【分数をかける計算のしかたを考えよう】 (P.42~56)

5月中旬~5月下旬 [12時間]

【単元の目標】

- ・(分数)×(分数)の意味や計算の仕方を理解し、その計算の仕方を既習の計算のきまりや計算の仕方を使って考えるとともに、多面的に検討した過程を振り返り、学習したことを今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…(分数)×(分数)の意味や計算の仕方を理解し、その計算ができるとともに、分数の場合も整数と同じように面積や体積の求積公式や交換、結合、分配法則が成り立つことを理解している。

思・判・表…既習の整数や小数の計算の仕方をもとに、(分数)×(分数)の計算の仕方を考え、説明している。

態度…既習の整数や小数の計算の仕方をもとに、分数の計算も同じように考えることができるというよさに気づき、学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.41)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 分数をかける計算 (P.42~50) 7時間			
1	○単元アプローチ (P.42) ・既習のかけ算について振り返り、乗数が分数の計算を意識する。		

2	○分数をかける意味と、(分数)×(単位分数)の計算の仕方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 分数をかける計算について、その式になる理由を説明する。 $4/5 \times 1/3$の計算の仕方を考える。 	知・技 既習の整数や小数の場合と関連づけ、分数をかける意味を理解している。 思・判・表 既習事項をもとにして、(分数)×(単位分数)の計算の仕方を考え表現している。 態度 乗数と被乗数が整数、小数、分数のどの組み合わせを学習したかを振り返り、未習のものはどれかを考えようとしている。
※	「よみとろう あらわそう」(P.274)で、分数の乗法で使用する2本数直線図のよみ方・かき方を確認する。		
3・4	○(分数)×(分数)の計算の仕方を考え説明するとともに、その計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> $4/5 \times 2/3$の計算の仕方を考える。 (分数)×(分数)の計算の仕方をまとめる。 	知・技 (分数)×(分数)の計算の仕方を理解し、計算をすることができる。 思・判・表 既習事項をもとにして、(分数)×(分数)の計算の仕方を考えている。
5	○途中で約分できる(分数)×(分数)の計算、整数を含む分数の乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> $5/6 \times 9/10$の計算の仕方を考える。 $3 \times 2/5$の計算の仕方を考える。 	知・技 計算の途中で約分できる(分数)×(分数)や(整数)×(分数)の計算をすることができる。
6	○帯分数を含む、(分数)×(分数)の計算、3つの分数の乗法の計算ができる。	<ul style="list-style-type: none"> $4/5 \times 1\frac{1}{3}$の計算の仕方を考える。 $9/10 \times 2/3 \times 5/6$の計算の仕方を考える。 	知・技 帯分数を含む、(分数)×(分数)の計算や3つの分数の乗法の計算をすることができる。
7	○乗数の大きさによる被乗数と積の大小関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 分数をかけるときの乗数と積の大きさの関係を調べる。 	知・技 乗数の大きさによる被乗数と積の大小関係を理解している。
2 分数のかけ算を使う問題 (P.51~53) 3時間			
8	○辺の長さが分数の場合も、求積公式を用いて面積が求められることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 辺の長さが分数で表されている場合も、面積公式が適用できることをまとめる。 	知・技 辺の長さが分数の場合も、公式を用いて図形の面積が求められることを理解している。
9	○時間を分数で表せば、速さの公式を用いられることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 時間が分数で表される場合も、速さの公式が適用できることをまとめる。 	知・技 時間が分数で表される場合も、速さの公式が用いられることを理解している。
10	○分数の乗法でも、整数や小数の乗法と同じような計算のきまりが成り立つことを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 計算法則が分数でも成り立つことを調べる。 	知・技 分数の乗法でも、整数や小数の乗法と同じような計算のきまりが成り立つことを理解している。
3 積が1になる2つの数 (P.54) 1時間			
11	○逆数の意味とその求め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 逆数の意味を知る。 帯分数、整数、小数の逆数を求める。 	知・技 逆数の意味とその求め方を理解している。
学習のまとめ 1時間			
※	「わかっているかな?」「まちがいやすい問題」(P.55)で、学習内容をより確かなものにする。		
12	○「たしかめポイント」(P.56)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P.255)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

5 分数のわり算〔分数でわる計算のしかたを考えよう〕 (P. 58～73)

6月上旬～6月中旬 [13時間]

【単元の目標】

- ・(分数)÷(分数)の意味や計算の仕方を理解し、その計算の仕方を既習の計算のきまりや計算の仕方を使って考えるとともに、多面的に検討した過程を振り返り、学習したことを今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…(分数)÷(分数)の意味や計算の仕方を理解して、その計算ができる。

思・判・表…既習の整数や小数の計算の仕方をもとに、(分数)÷(分数)の計算の仕方を考え、説明している。

態度…既習の整数や小数の計算の仕方をもとに、分数の計算も同じように考えることができるというよさに気づき、学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P. 57) は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	分数でわる計算 (P. 58～68) 9時間		
1	○単元アプローチ (P. 58)	・既習のわり算について振り返り、除数が分数の計算を意識する。	
2	○分数をわる意味と、(分数)÷(単位分数)の計算の仕方を理解する。	・分数をわる計算について、その式になる理由を説明する。 ・ $5/8 \div 1/3$ の計算の仕方を考える。	知・技 既習の整数や小数の場合と関連づけ、分数でわる意味を理解している。 思・判・表 既習事項をもとにして、(分数)÷(単位分数)の計算の仕方を考え表現している。 態度 除数と被除数が整数、小数、分数のどの組み合わせを学習したかを振り返り、未習のものはどれかを考えようとしている。
※	「よみとろう あらわそう」(P. 275) で、分数の除法で使用する2本数直線図のよみ方・かき方を確認する。		
3	○(分数)×(分数)の計算の仕方を考え説明するとともに、その計算ができる。	・ $5/8 \div 2/3$ の計算の仕方を考える。 ・(分数)÷(分数)の計算の仕方をまとめる。	知・技 (分数)÷(分数)の計算の仕方を理解し、計算をすることができる。 思・判・表 既習事項をもとにして、(分数)÷(分数)の計算の仕方を考えている。
4	○途中で約分できる(分数)÷(分数)の計算、整数を含む分数の除法の計算ができる。	・ $2/3 \div 8/9$ の計算の仕方を考える。 ・ $2 \div 3/4$ の計算の仕方を考える。	知・技 計算の途中で約分できる(分数)÷(分数)や、(整数)÷(分数)の計算をすることができる。
5	○帯分数を含む、(分数)÷(分数)の計算、3つの分数の乗法と除法のまじった計算ができる。	・ $5/8 \div 1\frac{1}{3}$ の計算の仕方を考える。 ・ $9/10 \times 2/3 \div 4/5$ の計算の仕方を考える。	知・技 帯分数を含む(分数)÷(分数)の計算や、3つの分数の乗法と除法のまじった計算をすることができる。
6	○整数、小数、分数のまじった乗法、除法の計算の仕方を考え、説明することができる。	・ $0.7 \div 2/5$ の計算の仕方を考える。 ・ $5 \div 2/3 \times 0.3$ の計算の仕方を考える。	知・技 整数、小数、分数のまじった乗法、除法の計算ができる。 思・判・表 整数、小数、分数のまじった乗法、除法の計算を、分数の乗法の計算としてとらえることができる。
7	○整数、小数の乗法、除法のまじった計算の仕方を考え、説明することができる。	・ $28 \div 12 \times 3 \div 0.7$ の計算の仕方を考える。	知・技 整数、小数のまじった乗法、除法の計算ができる。 思・判・表 整数、小数のまじった乗法、除法の計算を、分数の乗法の計算としてとらえることができる。
8	○除数の大きさによる被除数と商の大小関係を理解する。	・分数でわるときの除数と商の大きさの関係を調べる。	知・技 除数の大きさによる被除数と商の大小関係を理解している。
9	分数のわり算を使う問題 (P. 69) 1時間		
10	○時間を分数で表せば、速さの公式を用いられることを理解する。	・時間が分数で表される場合も、速さの公式が適用できることをまとめる。	知・技 時間が分数で表される場合も、速さの公式が用いられることを理解している。

③ 倍を表す分数 (P. 70~71) 2時間			
11	○倍を表す数を分数で表す場合があることを理解する。	・グレープジュースの量は、オレンジジュースの量の何倍にあたるかを考える。 ・倍を表す数を分数で表す場合があることを知る。	知・技 2つの数量の倍関係を表す数が分数となる場合があることを理解している。
12	○割合が分数で表されているときも、比較量や基準量を求めることができる。	・割合を表す分数を用いて、比較量を求める。 ・割合を表す分数を用いて、基準量を求める。	知・技 割合が分数で表されている場合も、比較量や基準量を求めることができる。
学習のまとめ 1時間			
※	「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」(P. 72)で、学習内容をより確かなものにする。		
13	○「たしかめポイント」(P. 73)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 256)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

● どんない計算になるか考えよう (P. 74) 6月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1	○乗法・除法を使って問題を解決することを通して、演算を決定する力を伸ばす。	・問題文を読み、どのような計算で求められるかを考えて、解決する。	知・技 問題場面について、適切な立式をして解決することができる。 思・判・表 数直線図などを用いて、どのような計算で求められるかを考え説明している。

6 円の面積 [円の面積の求め方を考えよう] (P. 76~86)

6月下旬 [8時間]

【単元の目標】

- ・円の面積の計算による求め方を理解し、図形の構成要素に着目し、既習の求積可能な図形の面積の求め方をもとに考えたり説明したりするとともに、円の面積の公式を導いた過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…円の面積の計算による求め方を理解し、円の面積を公式を使って計算で求めることができる。
- 思・判・表**…方眼の数を数えたり、既習の図形に変形したりするとともに、円の面積の求め方や公式を考え、説明している。
- 態 度**…円の面積の求め方を考えるのに、正多角形と関連づけたり方眼の数を数えたりして考えた過程を振り返り、学習に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P. 75)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	○単元アプローチ (P. 76)		
2	・図形の面積の大きさを比べる活動を通して、既習の図形の面積の求め方を振り返るとともに、未習の円の面積の求め方を意識させる。		
	○円のおよその面積を求めようとする。	・半径10cmの円の面積の求め方を考える。 ・方眼の数を数えたり、正多角形と関連づけたりして、半径10cmの円のおよその面積を求める。 ・半径10cmの円の面積と、半径を1辺とする正方形の面積を比べる。	思・判・表 方眼を使ったり、正多角形と関連づけたりして、円の面積を考えている。 態 度 既習事項を用いて、円の面積を調べようとしている。

3 ・ 4	○円の求積公式を導くとき、円の分割・合成から等積変形へと筋道立てて考えるとともに、円の面積を、公式を使って求めることができる。	・円の面積を求める公式を考える。 ・円の面積を求める公式をまとめる。	知・技 円の面積を、(半径)×(半径)×(円周率)という公式を使って、計算で求めることができる。 思・判・表 円の分割・合成の操作から、円の面積の求め方を筋道立てて考え、公式を導き出している。
5	○円の面積を求める公式を使って、円の面積についての理解を深める。	・半径4cmの円と直径4cmの円で円周の長さや面積を比べる。 ・円の1/2や1/4の大きさの図形の面積の求め方を考える。	知・技 円の面積を求める公式を使って、半径の異なる円の面積を比べたり、円の1/2や1/4の大きさの図形の面積を求めたりすることができる。
6 ・ 7	○円を含む複合図形の面積の求め方を考え、説明することができる。	・円を含む複合図形の面積の求め方を考え、説明する。	思・判・表 円を含む複合図形の面積の求め方を、既習の求積可能な図形の面積をもとに考え、説明している。
学習のまとめ 1時間			
8	○「たしかめポイント」(P.86)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		

7 場合の数〔ならび方や組み合わせ方を調べよう〕 (P.88~97)

7月上旬〔7時間〕

【単元の目標】

- ・順列や組み合わせについて、起こりうる場合を落ちや重なりがないように調べる方法を理解し、事象の特徴に着目し、落ちや重なりがないように順序よく筋道立てて考えるとともに、多面的に検討した過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…順列や組み合わせについて、起こりうる場合を調べるには、ある観点に着目したり、図や表などに表したりすればよいことを理解し、落ちや重なりがないように、起こりうる場合を順序よく調べることができる。
- 思・判・表**…起こりうる場合を調べるのに、事象の特徴に着目し、図や表などを用いたり、項目を記号に表したりして、順序よく筋道立てて考えている。
- 態度**…起こりうる場合について、落ちや重なりがないように、図や表などを用いて順序よく調べたことを振り返り、学習や生活に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.87)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	ならび方 (P.88~92) 4時間		
1 ・ 2	○単元アプローチ (P.88) ・手をつないだならび方の調べ方を考察する。	・4人で写真を撮るとき、1人を左はしの位置にした場合のならび方を考える。 ・ならび方を調べる方法をまとめる。	思・判・表 ならび方について、起こりうる場合を、落ちや重なりがないように、ある観点に着目したり、図や表などを用いたりして考えている。 態度 落ちや重なりがないように、ならび方を調べようとしている。
3	○ならび方を、落ちや重なりがないように、順序よく調べることができる。	・10円玉を3回投げたときの、表と裏の出方の起こりうる場合を、図を用いて調べる。	知・技 ならび方について、落ちや重なりがないように、起こりうる場合を順序よく調べることができる。
4	○条件に合った場合を、順序よく筋道立てて考え、説明することができる。	【Hello! Math】 ・条件に合った体育館への行き方を調べる。	思・判・表 条件に合った体育館への行き方を、図などを用いて、順序よく筋道立てて考え説明している。
2	組み合わせ方 (P.93~95) 2時間		
5	○組み合わせ方を、落ちや重なりがないように順序よく考え説明することができる。	・4つの組でバスケットボールの試合をするとき、試合数の組み合わせ方を考える。 ・組み合わせ方を調べる方法をまとめる。	思・判・表 組み合わせ方について、起こりうる場合を、落ちや重なりがないように、図や表などを用いて考えている。

6	○組み合わせ方を、落ちや重なりがないように、順序よく調べることができる。	・5種類のケーキから、3種類を選んで買う場合の買い方を調べる。 ・4枚のカードから3枚選んだ場合の並び方を調べる。	知・技 並び方や組み合わせ方を調べるには、図や表に表せばよいことを理解し、落ちや重なりがないように、起こりうる場合を順序よく調べることができる。
学習のまとめ 1時間			
※	「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」(P.96)で、学習内容をより確かなものにする。		
7	○「たしかめポイント」(P.97)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P.257)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

● **活用〔円の面積を使って〕** (P.98~99) 7月上旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1	○色をぬった部分をあわせた形をとらえ、面積の求め方を説明することができる。	・多角形の頂点を中心に円の一部をかき、色をぬり、その面積の求め方を考える。	思・判・表 それぞれの多角形で、色をぬった部分をあわせた形をとらえ、面積の求め方を考え説明している。

* **復習** (P.100~101) 配当時数なし

※	「復習」(P.100~101)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。
---	--

8 角柱と円柱の体積〔立体の体積の求め方を考えよう〕 (P.104~110)

9月上旬 [6時間]

【単元の目標】

- ・角柱や円柱の計算による求め方を理解し、図形の構成要素に着目し、既習の求積可能な立体の体積の求め方をもとに考えたり説明したりするとともに、角柱や円柱の体積の公式を導いた過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…角柱や円柱の体積は(底面積)×(高さ)で求められることを理解し、公式を用いて、角柱や円柱の体積を求めることができる。
- 思・判・表**…角柱や円柱の体積を求めるのに、図形の構成要素に着目して、既習の求積方法に基づいて考え、説明している。
- 態 度**…角柱や円柱の体積に関心を持ち、それらを求める公式を導き出す過程を振り返り、学習や生活に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.103)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	○単元アプローチ (P.104)		
・	・既習の立体について、体積の比べ方を考え、未習の立体の体積を求めることに興味を持つ。		
2	○直方体の体積は、底面積と高さの積で求められると考え、求め方を説明することができる。	・直方体の体積を、底面積と高さを用いてとらえ直す。	知・技 直方体の体積を、底面積と高さを用いて考え、求め方を説明している。 態 度 角柱、円柱の体積を調べることに興味を持ち、直方体の体積の求め方をもとに考えようとしている。
3	○角柱の体積の求め方を考え、求めることができる。	・三角柱の体積の求め方を考える。 ・角柱の体積を求める公式をまとめる。	知・技 角柱の体積を、(底面積)×(高さ)という公式を使って求めることができる。 思・判・表 三角柱の体積を、(底面積)×(高さ)という既習事項を用いて考え、求め方を説明している。

4 ・ 5	○円柱の体積の求め方を考え、求めることができる。	・円柱の体積の求め方を考える。 ・円柱の体積を求める公式をまとめる。	知・技 円柱の体積を、公式を使って求めることができる。 思・判・表 円柱の体積を、角柱の体積の求め方もとにして考えている。
※	「つなげる算数」(P.109)は、直方体を組み合わせた立体の体積を、(底面積)×(高さ)の公式でとらえ直す。		
学習のまとめ 1時間			
6	○「たしかめポイント」(P.110)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P.258)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

9 比〔2つの数で割合を表そう〕 (P.112~123)

9月中旬~10月上旬 [9時間]

【単元の目標】

- ・2つの数量の割合を表す方法として比を理解し、既習の2つの数量の割合と結びつけて考えるとともに、考えた過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…比による表し方や比の値、及び等しい比の意味を理解し、2つの数量の割合を比で表したり、それと等しい比をつくったりすることができる。

思・判・表…日常の事象における数量の関係に着目し、比による表し方について、2つの数量の割合と結びつけて考えている。

態度…身の回りから比が用いられる場面を探したり、比を用いて解決したりして、学習や生活に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準	
※	「次の学習のために」(P.111)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。			
1	2つの数で表す割合 (P.112~115) 3時間			
1 ・ 2	○単元アプローチ (P.112) ・ミルクコーヒーのコーヒーとミルクのまぜ方について、わかりやすく表す方法を考える。	○ミルクコーヒーのコーヒーとミルクのまぜ方を考え、似ているまぜ方を説明することができる。	・ミルクコーヒーのコーヒーとミルクのまぜ方を考える。 ・コーヒーとミルクの似ているまぜ方を探し、発表する。	思・判・表 ミルクコーヒーのコーヒーとミルクのまぜ方を考え、似ているまぜ方を説明している。 態度 ミルクコーヒーのコーヒーとミルクのまぜ方の表し方に興味を持っている。
3	○2つの数量の割合を比で表したり、比の値を求めたりすることができる。	・比を用いた考え方、表し方を知る。 ・比の値の意味を知る。	知・技 2つの数量の割合について、比を用いて表したり、比の値を求めたりすることができる。 思・判・表 比による表し方を、2つの数量の割合と結びつけて考えている。	
2	等しい比 (P.116~118) 3時間			
4	○比の値が等しい比は、「2つの比は等しい」関係にあることを理解する。	・等しい比の意味を知る。	知・技 比の値を用いて確かめられるという等しい比の意味を理解している。	
5	○等しい比をつくることができる。	・等しい比の性質と等しい比の作り方を考える。	知・技 比の性質を理解し、その性質を使って等しい比をつくることができる。	
6	○等しい比の性質を使って、比を簡単にすることができる。	・120:40の比を小さい整数の比で表す方法を考える。 ・小数や分数で表された比を簡単にする方法を考える。	知・技 比の性質を理解し、比を簡単にする方法を理解している。 態度 2つの数量の関係を整数の組でとらえる方が見やすいという比のよさに気づいている。	
3	比を使った問題 (P.119~120) 2時間			
7	○比の性質を使って、未知の数量の求め方を考え、説明することができる。	・比を使って学級の旗の縦と横の長さの関係を表し、問題を解決する。	思・判・表 2つの数量の関係を割合でとらえるとともに、等しい比の表し方や比の性質を使って、未知の数量の求め方を考えている。	

8	○比の性質を使って、全体の量を比例配分する方法を考え、説明することができる。	・150mLのドレッシングを、酢とサラダ油の量が2：3になるようにまぜるとき、それぞれの量を求める。	思・判・表 2つの数量の関係を割合でとらえるとともに、等しい比の表し方や比の性質を使って、未知の数量の求め方を考えている。
---	--	--	--

学習のまとめ 1時間

※	「わかっているかな?」「まちがいがやすい問題」(P.122)で、学習内容をより確かなものにする。
9	○「たしかめポイント」(P.123)に取り組み、学習内容の理解を確認する。
※	「ぐっとチャレンジ」(P.259)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。

10 拡大図と縮図 [形が同じで大きさのちがう図形を調べよう] (P.126~141)

10月中旬~10月下旬 [10時間]

【単元の目標】

- ・拡大図や縮図を観察したり、作図したりすることを通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素の関係を考察して図形の性質を見いだすとともに、考察した過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…拡大図や縮図の意味や性質を理解し、拡大図や縮図を作図することができる。
- 思・判・表**…図形を構成する要素の關係に着目して、拡大図や縮図の性質を見だし、図形を拡大したり、縮小したりする方法を考え説明している。
- 態度**…身の回りにある拡大図や縮図に関心を持ち、実際に用いられている場面を見つけたことを振り返り、学習や生活に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P.125)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1	形が同じで大きさのちがう図形 (P.126~129) 2時間		
1	○単元アプローチ (P.126)		
2	・家の写真で、縦に2倍したもの、横に2倍したもの、縦、横ともに2倍にしたものなどを示して、形が同じに見えるものはどれかを考える。		
	○拡大図・縮図の意味やその性質を理解する。	・家の形や大きさについて調べる。 ・拡大する、縮小する、拡大図、縮図の意味を知る。 ・拡大図や縮図の対応する辺や対応する角の大きさを調べる。	知・技 拡大図や縮図の意味を理解するとともに、拡大図や縮図では、対応する辺の長さの比は等しく、対応する角の大きさは等しくなっていることを理解している。 思・判・表 拡大図や縮図の意味について、合同の意味や縦や横の長さだけ変えた図と比較しながら考えている。
2	拡大図と縮図のかき方 (P.130~133) 4時間		
3	○方眼を手がかりにして、拡大図や縮図を作図することができる。	・方眼紙を使って、拡大図や縮図をかく。	知・技 同じ目盛りの方眼紙を使って、拡大図や縮図を作図することができる。
4	○辺の長さや角の大きさをはかって、拡大図や縮図を作図することができる。	・拡大図や縮図をかくには、どの辺の長さや角の大きさをはかればよいかを考える。 ・定規、コンパス、分度器を用いて拡大図や縮図をかく。	知・技 辺の長さや角の大きさをはかって、拡大図や縮図を作図することができる。 思・判・表 拡大図や縮図をかくとき、対応する点のきめ方を考え説明している。
5	○1つの点を中心にして、三角形の拡大図や縮図を作図することができる。	・1つの点を中心にした、三角形の拡大図や縮図のかき方を考える。	知・技 1つの点を中心にして、三角形の拡大図や縮図を作図することができる。
6	○1つの点を中心にして、四角形の拡大図や縮図を作図することができる。	・1つの点を中心にした、四角形の拡大図や縮図のかき方を考える。	知・技 1つの点を中心にして、四角形の拡大図や縮図を作図することができる。 思・判・表 1つの点を中心にした、四角形の拡大図や縮図の作図方法を、三角形の場合をもとに説明している。

3 縮図と縮尺 (P. 134~139) 3時間			
7	○縮尺の意味や表し方を知り、縮尺を利用して、縮図上の長さから実際の長さを求める方法を理解する。	・「縮尺」の用語とその意味を知る。 ・縮図上に表された長さから、実際の長さを求める。	知・技 縮尺の意味と表し方を理解している。 思・判・表 縮尺を利用して、縮図上の長さから実際の長さを求める方法を考えている。
8	○縮図をかいて、実際にははかることのできない長さを求める方法を理解する。	・縮図を使って、実際にははかることのできない校舎の高さを求める。	思・判・表 縮図や縮尺を利用することで、実際にははかることのできない長さを求める方法を考え説明している。
9	○縮図の考えを使って、はかりにくいものの高さのはかり方を調べようとする。	【Hello! Math】 ・縮図の考えを使って、身の回りにはかりにくいものの高さをはかる。	態度 縮図の考え方をを使って、身の回りにはかりにくいものの高さのはかり方を調べようとしている。
学習のまとめ 1時間			
※	「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」(P. 140)で、学習内容をより確かなものにする。		
10	○「たしかめポイント」(P. 141)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 260)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

11 比例と反比例〔2つの量の変わり方を調べよう〕 (P. 144~165)

10月下旬~11月中旬 [13時間]

【単元の目標】

- ・比例や反比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係に着目し、表、式、グラフを用いて、その変化や対応の特徴を考えるとともに、考えた過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…比例や反比例の関係について理解し、比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を、表、式、グラフに表すことができる。
- 思・判・表**…伴って変わる2つの数量やそれらの関係に着目し、表、式、グラフを用いて、比例や反比例の関係の特徴を考えている。
- 態度**…伴って変わる2つの数量の関係を考察したことを振り返り、学習や生活に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P. 143)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1 比例 (P. 144~146) 3時間			
1 ・ 2	○身の回りから伴って変わる2つの数量関係になっているものを探し、その関係を考察することができる。	・身の回りから伴って変わる2つの数量を見つけ、その変化の仕方がどのようになっているかを、表を使って確認する。	思・判・表 伴って変わる2つの量の関係に着目し、その変わり方を比べ説明している。 態度 身の回りから、伴って変わる2つの数量関係になっているものを探そうとしている。
3	○比例の関係について、伴って変わる2つの量の関係を考え説明することができる。	・比例する2つの量の関係について、表を見て、いつでも成り立つかどうかを調べる。 ・比例の性質をまとめる。	知・技 比例の関係について理解している。 思・判・表 比例する2つの量の関係について、 x が小数倍、分数倍になると、 y がどのように変わるかを考えている。
2 比例の式とグラフ (P. 147~153) 4時間			
4	○ y が x に比例するとき、 $y = (\text{きまった数}) \times x$ と式に表すことができる。	・ y が x に比例するとき、対応する x と y の値の関係を考える。 ・ x と y の値の関係を式に表す。 ・ y が x に比例するとき、 x と y の関係は式に表せることをまとめる。	知・技 比例の関係を式に表すことができる。 思・判・表 伴って変わる2つの数量が比例するとき、対応する2つの量にどのような関係があるかを考えている。

5 ・ 6	○比例の関係をグラフに表し、そのグラフから、値をよみとることができる。	・比例の関係をグラフに表す。 ・比例の関係を表すグラフの特徴をまとめる。 ・比例の関係を表すグラフから、xやyの値をよみとる。	知・技 比例の関係をグラフに表したり、グラフからxやyの値をよみとったりすることができる。
7	○比例のグラフの考察を通して、比例のグラフへの理解を深める。	・2本の比例のグラフから、いろいろなことをよみ取り、発表する。	思・判・表 傾きの異なる2本の比例のグラフから、事象の様子や特徴をよみ取り、説明している。
3 比例の利用 (P. 155~157) 2時間			
8 ・ 9	○日常的な事象に比例を見だし、比例の考えを生かした解決方法を説明することができる。	・比例の考えを使って、画用紙400枚を用意する方法を考えたり、画用紙300枚の枚数を求めたりする。 ・比例の考えを使って、紙でつくった象の形の面積を求める。	知・技 比例の関係をを利用して、問題を解決する方法を知っている。 思・判・表 比例の考えを使って、能率的な数量の測定をくふうし、説明している。
4 反比例 (P. 158~159) 1時間			
10	○反比例の関係について理解する。	・表から、伴って変わる2量の関係を調べる。 ・反比例の関係について知る。	知・技 反比例の関係について理解している。 思・判・表 横の長さが2倍、3倍、…になると、縦の長さがどのように変わるかを考えている。
5 反比例の式とグラフ (P. 160~163) 2時間			
11	○yがxに反比例するとき、 $y = (\text{きまった数}) \div x$ と式に表すことができる。	・yがxに反比例するとき、対応するxとyの値の関係を考える。 ・xとyの値の関係を式に表す。 ・yがxに反比例するとき、xとyの関係は式に表せることをまとめる。	知・技 反比例の関係を式に表すことができる。 思・判・表 伴って変わる2つの数量が反比例するとき、対応する2つの量にどのような関係があるかを考えている。
12	○反比例の関係をグラフに表すことができる。	・反比例の関係をグラフに表す。 ・反比例の関係を表すグラフの特徴を話し合う。	思・判・表 反比例の関係をグラフに表したとき、どのような特徴があるかを考えている。
学習のまとめ 1時間			
※	「わかっているかな?」「まちがしやすい問題」(P. 164)で、学習内容をより確かなものにする。		
13	○「たしかめポイント」(P. 165)に取り組み、学習内容の理解を確認する。		
※	「ぐっとチャレンジ」(P. 261)は、予備時間などを使って弾力的に扱う。		

12 およその面積と体積【およその面積と体積を考えよう】(P. 166~168)

11月中旬【2時間】

【単元の目標】

- ・不定形な図形の面積や体積について、その概形をとらえると、およその面積や体積が求められることを理解し、図形を構成する要素や性質に着目し、その面積や体積を筋道立てて考えとともに、考えた過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

知・技…不定形な図形の面積や体積について、その概形をとらえるとおよその面積や体積が求められることを理解し、その面積や体積を求めることができる。

思・判・表…図形を構成する要素や性質に着目し、不定形な図形の面積や体積を求めるのに、その概形をとらえて考えている。

態度…身の回りにある不定形な図形について、その概形をとらえておよその面積や体積を調べたことを振り返り、学習や生活に活用しようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1] およその面積 (P. 166~167) 1時間			
1	○不定形な図形の面積について、既習の図形としてとらえ、公式を使って求めることができる。	・琵琶湖のおよその面積の求め方を考える。	知・技 不定形な図形の面積について、その概形をとらえておよその面積を求めることができる。 思・判・表 不定形な図形の面積を求めるのに、その概形をとらえて考えている。
2] およその体積 (P. 168) 1時間			
2	○不定形のもの体積を、既習の立体と考え、およその体積を求めることができる。	・米袋のおよその体積を、概形をとらえて求める。	思・判・表 不定形なもの体積を、既習の立体とみなして考えている。 知・技 不定形な図形の体積について、その概形をとらえておよその体積を求めることができる。

13 資料の調べ方〔資料の特ちょうを調べよう〕 (P. 170~193)

11月下旬~12月上旬 [14時間]

【単元の目標】

- ・代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフ、統計的な問題解決の方法を理解し、目的に応じて集めたデータの特徴や傾向に着目し、問題の結論や妥当性について批判的にとらえ考察するとともに、統計的な問題解決過程を振り返り、学習したことを生活や今後の学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の評価規準】

- 知・技**…代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフのよみ方やかき方、目的に応じてデータを集めたり適切な方法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解している。
- 思・判・表**…身の回りの事象について、目的に応じて集めたデータの特徴や傾向に着目し、問題の結論や妥当性について批判的にとらえ考察して、その特徴を考えている。
- 態 度**…統計的な問題解決過程を振り返り、多面的に捉え検討して考えたり、学習や生活に活用したりしようとしている。

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
※	「次の学習のために」(P. 169)は、短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。		
1] 平均とちらばりのようす (P. 170~175) 3時間			
1	○資料の特徴を比べる場合の平均の意味を理解する。	・1組と2組のソフトボール投げの記録を比べる方法を考える。 ・資料の特徴を比べる場合の平均の意味を知る。	知・技 資料の特徴を比べる場合の平均の意味、平均を用いるよさを理解している。 態度 ソフトボール投げの記録を比べるのに、平均を用いるよさに気づいている。
2	○ちらばりのようすを用いて、資料の特徴をとらえることができる。	・数直線を利用して、記録のちらばりのようすを表し、資料の特徴を話し合う。	思・判・表 資料の最高記録や最低記録、平均に着目したり、記録を数直線上に表したりして、2つの資料の特徴を考えている。
3	○度数分布表をよみとったり、かいたりすることができる。	・1組の記録をまとめた度数分布表をよみとる。 ・2組の記録を度数分布表にまとめる。 ・度数分布表にまとめた記録の特徴を話し合う。	知・技 資料のちらばりのようすについて、度数分布表をよみとったりかいたりすることができる。
2] 区切りのあるグラフ (P. 176~177) 2時間			
4 5	○柱状グラフをよみとったり、かいたりすることができる。	・柱状グラフの意味を知る。 ・2組の記録を、度数分布表から柱状グラフに表す。 ・柱状グラフに表された記録の特徴を話し合う。	知・技 資料全体の分布のようすや特徴がわかりやすくなるという柱状グラフの意味と表し方を理解し、柱状グラフをよみとったりかいたりすることができる。

3 データを代表する値 (P.178~181) 2時間			
6	○代表値としての平均値, 最頻値, 中央値の意味を理解する。	・学校訪問に来た人たちの年齢から, その特徴を表す値について調べる。	知・技 代表値の意味や, 代表値としての平均値, 最頻値, 中央値の意味や求め方を理解している。
7	○ドットプロットに表されたデータの特徴や傾向に着目して, 代表値を使って判断し, 説明することができる。	・弁当屋の弁当の製造について, データをよみとって, 自分の考えを説明する。	思・判・表 ドットプロットに表されたデータを読み取り, 代表値を使って判断したことを説明している。
4 データの調べ方とよみとり方 (P.182~192) 6時間			
8	○柱状グラフを組み合わせたグラフをよみとり, 資料の特徴をとらえることができる。	・1975年と2015年の男女別, 年齢別の人口の割合を表したグラフをよみとる。	思・判・表 柱状グラフを組み合わせたグラフから, 資料の特徴を考え表現している。
9 ~ 13	○これまでの学習を振り返り, 統計的な問題解決の方法を整理し, まとめることができる。	・「問題→計画→データ→分析→結論」という流れになっている統計的な問題解決の方法を整理する。 ・どのマスコットを選ぶかを例にして, 統計的な問題解決の方法を確かめる。	知・技 目的に応じてデータを収集したり, 方法を選択したりするなど, 統計的な問題解決の方法を理解している。 態度 得られた結論の妥当性について, 批判的にとらえ考察しようとしている。
学習のまとめ 1時間			
14	○「たしかめポイント」(P.193)に取り組み, 学習内容の理解を確認する。		

● 活用【「一汁三菜」の献立を考えよう】 (P.194~195) 12月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1	○和食の献立「一汁三菜」について調べ, 調べたことを説明することができる。	・和食の献立「一汁三菜」について調べる。	思・判・表 和食の献立「一汁三菜」について調べ, 調べたことを説明している。

● 活用【つなげ! 勝利のバトンパス】 (P.196~197) 12月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1	○表で表された400mリレーのバトンパスに関する資料を調べ, わかったことを説明することができる。	・400mリレーのバトンパスに関する資料について, いろいろな観点で考察する。	思・判・表 表で表された400mリレーのバトンパスに関する資料を調べ, わかったことを説明している。

● 算数アドベンチャー【好きな給食や将来の夢は何か】 (P.198~199) 12月中旬 [1時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1	○たくさんの情報の中から, わかっていることを手がかりに関係を整理し, 筋道立てて問題解決することができる。	・好きな給食や将来の夢について示された情報を整理して, わかったことを表にまとめる。	思・判・表 たくさんの情報の中から, わかっていることを手がかりに関係を整理し, 筋道立てて問題解決し, その過程を説明している。

* 復習 (P.200~201) 配当時数なし

※	「復習」(P.200~201)は, 短時間学習や家庭学習などを通して弾力的に扱う。
---	---

● マテマランドを探検しよう！ (P. 202~222) 1月中旬~2月上旬 [16時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1 ~ 16	○数学的な見方・考え方やアイデアを適用することを通して、算数の楽しさ、よさ、不思議や面白さにふれるとともに、算数を生活や学習に活かす力や態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「マテマランドの探検」の課題への取り組み方を知る。 ・「パズルコース」「歴史コース」「ふしぎコース」から好きなコースを選び、学習を進める。 	態度 算数の楽しさ、よさ、不思議や面白さにふれることを通して、算数への興味・関心が高まり、生活や学習に活かそうとしている。

● 6年間のまとめ (P. 223~232) 2月中旬~2月下旬 [12時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1 ~ 12	○小学校6年間の学習内容についての理解を確かなものにする。	・小学校6年間の学習内容を確認する。	知・技 小学校6年間の学習内容について、解決の仕方を理解している。

● もうすぐ中学生 (P. 233~240) 3月上旬 [7時間]

時	目 標	学 習 活 動	お も な 評 価 規 準
1 ~ 7	○中学校で学習する数学の内容について、関心を持つようとする。	・算数の学習を発展させた中学数学で学ぶ内容の一部を知る。	態度 中学校で学習する数学の内容について、関心を持って取り組んでいる。